

## 海光る町学園 佐世保市立小佐々中学校

所在地 佐世保市小佐々町西川内132番地

校長 前田 和子

生徒数 173名（1年生62名、2年生51名、3年生60名）

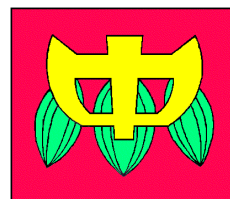
〈校訓〉【学校教育目標】

英知 - 自ら進んで学ぶ小佐々中の生徒

信愛 - 心豊かな小佐々中の生徒

活力 - 健康でたくましい小佐々中の生徒

★「今、ここから前進!」「笑顔を届ける」生徒を育てる教育の推進★



〈平成30年度の重点事項〉

### 学力向上の取組・小中連携・地域人材の活用

### 学力向上プラン 「わかる・できる」楽しさを味わわせる

☆校内研修と連動した取り組み☆

○授業改善からの教師の指導力向上      ○生徒の学習習慣の確立

校内研究テーマの実践検証



今年度研究テーマ

「めあて」と「まとめ」をつなぐ展開の工夫

～コミュニティ・スクールの特性を生かした学びの場を工夫した授業づくり～

(1) 小佐々中学びのスタンダードの徹底

(2) 提案授業による検証

① 学力向上に向けた授業（全11回）・現職教育（研修）【全18回】  
小中連携を生かした相互授業参観（算数・数学科、英語科・音楽科）

② 地域人材を活用した授業

○【国語科：主張のある文章を書く～座談会をしよう～】

…地域の方を講師としてお迎えし、座談会形式で地域活性化から保育・福祉など多岐にわたるテーマに沿った取材を行った。取材した内容から主張のある文章を書き、講師を招いて少年の主張大会を開催。熱弁を振っていた。

○【国語科：書き初め】

…地域の方の中から、書道の達人をお招きし、書道の指導を行っていた。毎年生徒が楽しみにしている授業で、めきめき腕を上げた。



○【総合：ふるさと歴史発見学習～地域の先生方に学ぼう～】

…ふるさと歴史発見学習の一環として、地域学習をした後に、地域の先輩を招き、座談会形式で小佐々地区の歴史や文化、風土等について学んだ。再発見したことや初めて知ることも多く、これらの内容をまとめあげ、文化祭で発表した。



○【家庭科：少年水産教室～お魚教室～】

…地元の漁業士及び漁業協同組合婦人部の方をお招きし、地元でとれた「あじ」と「いか」を使った料理教室を実施した。初めてあじを三枚におろしたり、いかをさばいたりした生徒もいて、貴重な体験の場となった。小佐々地区の地場産業理解にもつながった。



③ 小学校への乗り入れ授業【英語科・理科・国語科・美術科】

○【英語科：数や好きなものを英語で話そう、学習発表会の英語劇に向けての発音練習】（小5年生）

○【英語科：月を英語で言おう、canについての学習、道案内を知ろう】（小6年生）…小学校二校で合わせて7時間乗り入れ授業を実施した。

○【理科：地震を知ろう】（小6年生）…同一指導案で二つの小学校で授業を実施した。

○【国語科：漢文に親しもう】（小5年生）…中学生でも難しい漢文に親しめるように工夫した。

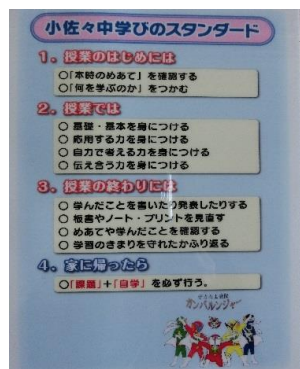
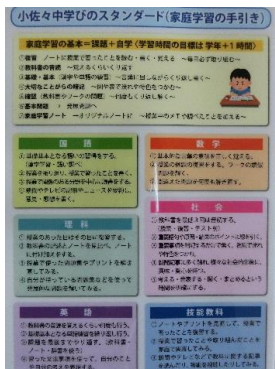
○【美術科：人物画を描こう】（小6年生）…子ども県展に向けての作品作りを指導した。



(3) 生徒の学習習慣の確立

① 学習習慣確立のため、家庭学習の内容充実を図る

「小佐々中学びのスタンダード」  
 ・学習の手引き  
 ・家庭学習のポイント



- 1年生（入学時）に下敷きとして配付
- 家庭学習のポイントをわかりやすく解説し、主体的に学ぶために役立たせる。
- 専門委員会（学習部）の活動として、家庭学習調査に取り組みました。
- 自主学習の内容の幅を広げ、充実させるのに役立った。

※生徒からは、「中学校での勉強のやりかたがわかった」「家庭学習の方法の参考になった」等の声があった。

② 生活ノート（やりとり帳）の活用：一日の振り返りや家庭学習の記録を毎日することで生徒自身の生活・学習習慣を見直す。担任とのやりとりの中で信頼関係を増すと共に課題の早期発見につなげる。

小佐々っ子プラン

地域の教育力・財産を生かして  
 小佐々で子どもを育てる

☆地域人材を活用した取組

- 地域の教材力を活用
- 地域の人材力を活用
- 地域のネットワークを活用



### (1) 小佐々町の教材力を生かした取組

#### <ふるさと歴史発見学習・海洋体験・議場体験・職場体験学習・少年水産教室>

上記に示した学習は、小佐々地区にある豊かな自然や産業、歴史・文化といった特性を生かした取組である。ふるさと歴史発見学習では、従来の地域を巡る学習だけではなく、地域の方を迎えての地域学習を座談会形式で実施し、郷土を大切にする情操教育に大いに役だった。また、昨年度より主権者教育の一環として旧小佐々町議場を使って、生徒総会前の学級討議を行ったり、かがやきっ子会議を実施したりした。正式な議場での討議と自治を身近に感じる一助になったと確信する。特に、3年生はその後に佐世保市議会の見学も実施した。職場体験学習では、小佐々町内を中心とした23の事業所が生徒を温かく迎え入れてくださり、正しい職業観育成がなされた実感している。海洋体験ではカヌー体験を、水産教室では漁業士や漁協婦人部の方たちの協力を得て料理教室を開催した。生徒は、小佐々地区の宝である自然のすばらしさを再認識し、郷土を誇る思いと共に未来に渡って持続可能な自然遺産を大切にする情操を育めた。



### (2) 小佐々町の人材力を生かした取組

#### <伝統文化学習・親子文化交流会・進路学習(面接指導)・いのちの座談会・学習支援>

小佐々町内には、伝統文化・芸術面等において秀でた力をおもちの方が多数おられ、本校では「地域の達人」とお呼びして、学校教育の充実に大いに寄与していただいている。伝統文化学習(3年)で、昨年度に引き続き「かかし作り」・「わら草履作り」・「日本舞踊」・「箏演奏」・「いりこ料理」の5コースを設定し、講師に地域の達人をお招きした。地域の達人との交流の中で、伝統文化に親しんだ。10月には、文化祭の中で、講師の方たちのおかげで見事な成果を披露した。また、高校入試に向けた面接指導においては、9人の講師に来ていただき、熱心に指導にあたっていただいた。子どもたちを丁寧かつ温かく指導



し、励ましてくださった。ほかにも、読み語り・食育指導・平和学習・人権学習・いのちの講話・親子文化交流会・夏休みの学習会など様々な場面で、地域の達人をはじめ多くの講師を招いて学習や体験を深めた。



### (3) 小佐々のネットワークを生かした取組

#### <小中連携(三校交流・かがやきっ子会議・ボランティア清掃)・PTAとの連携・地域との連携>

児童・生徒会一かがやきっ子会議を実施。【小佐々支所内旧議場等にて】海光る町学園の子どもとして、目指す子ども像の実現に向けて具体的な目標を共有する会議を年に2回(7月と2月)開催した小佐々中校区には、二つの小学校と一つの中学校がある。この三校での交流会を2月に中学2年生と小学6年生で行った。4月の入学を前に子どもたちがつながることで、中学校生活を知ってもらうのはもちろんのこと、中1ギャップ予防にもつながると考える。小学校の児童は、親睦を深めると共に学校の様子をいち早く知り、4月からの入学に心躍らせていた。PTA主催による親子文化交流活動【しめ縄作り(1年)・門松作り(2年)・もちつき(3年)】をはじめ、あいさつ運動・下校指導、生活習慣調査、学校やPTA活動の様子を知らせる広



報活動等を通してPTAとの連携を強め、子どもたちのよりよい学校生活に向けて活動が行われた。

# 3年伝統文化学習『地域の達人に学ぶ』から

## ～生徒が、地域の達人から学んだこと～

- 何かを始めるのに、大人になってからでも、歳をとってからでも遅くはないこと。したいことには思い切って飛び込んでいくことの大切さを学びました。
- 人から何かを学ぶことの大切さを知ることができました。そして、代々使われてきたものを私たちが受け継ぐということの責任の重大さも知ることができました。文化祭では、伝統を一生懸命伝えようとするすばらしさが3年生全員にありました。
- 廃材から新たなものをつくるのが難しいことやできあがった時の達成感がすごいこと、そして細かい積み重ねによりすごいものがつくれることを学びました。
- 自分たちの周りには、こんなにも身近にすばらしい地域の人がいるということを知りました。
- いりこが多くの料理に活用できることを学びました。改めて地元のよさを知る機会ができました。

## コミュニティ・スクールとしての取組



地域とともに子どもを育てる  
つながりの中で行う教育活動



- (1) 目指す子ども像に向けた取組
  - 『おさかなあいなつ』  
～ 子ども版・大人版 ～
- (2) 地域の方たちの学校行事への参加
  - 唱歌を歌う会 文化祭への参加
  - 小学校卒業式での退場時の式歌合唱
- (3) 地域人材・教材を活用した取組
  - 教科・総合・各行事
- (4) 地域行事への生徒・教職員の参加
  - 地区文化祭への参加
    - ・読書まつり
    - ・3年合唱
    - ・伝統文化日舞コース発表
    - ・吹奏楽部演奏
    - ・文化祭運営手伝い
  - 地区駅伝大会への参加・運営手伝い
    - ・生徒チーム（地区）、職員チーム参加、運営参加
  - その他・地域での夏祭り等への参加・出演



## 4 成 果

本校が、今年度目指したものは、学校教育と地域人材の積極的活用を核に据えた授業改善と学力向上を目指した取組であった。特に、学力向上に向けた校内研修の取組と連動させることを重点とした。教師の授業力を向上させることで、生徒の学習に向かう姿勢と学びの意欲が増してきた。その成果が少しずつではあるが結果として現れてきた。生徒の伸びに呼応するように、教師の意欲もさらに増してきた。

今年度は、本校が取り組む小中一貫型小・中学校を導入したコミュニティ・スクールの一層の推進に向けて、地域と共にある学校になるための取組に傾注してきた。ポイントは、小中連携の一層の充実と地域の人材活用・地域との連携の一層の拡大・深化である。そこでは、地域（の方々）、さらには小・中学校間の心的・物的な距離感を縮めるよう努力をした。その成果として、地域からの温かい励ましの声や信頼を寄せる声が増えた。地域の元気な声が学校に届くようになった。学校も地域も着実に成果を感じ始めている。学校評価の高い数値が、これらを如実に示している。また、感想欄に書かれた地域・保護者の声を読んだ時に、特色ある学校づくりの大切さが伝わった。今後もさらに特色のある学校づくりを目指し、学力向上、地域を敬愛する生徒の育成という大きな期待にこたえなければならぬと痛切に感じる。期待の大きさに身が引き締まる思いである。

学校評価の中から顕著なものを挙げてみる。

### ○学校評価から

#### <成果>

- ・『学校の特色ある教育活動に満足している』・・・95% ←93%(前年度) ←92%(一昨年度)
- ・『教師はわかる授業を実践している』・・・85% ←84%(前年度) ←84%(一昨年度)
- ・『学校はホームページや学校便り・通信等で情報を公開している』・・・95% ←95%(前年度)
- ・『生徒は好ましい交友関係があり、楽しく登校している』・・・90% ←91%(前年度)

### ○地域の声から

- 時々、学校にお世話になりますが、校内の雰囲気が大変すばらしく感じます。PTAの方々から聞く言葉もなかなか評判がよく思います。先生方も本気に努力されているようです。
- 今、地域の多くの人々が、学校教育に関心をもつようになってきているように思えます。また、生徒の活動にも、めざましいものが見られるようになってきました。さらに積み上げて、地域と共に盛り上げてほしいと思います。協力は惜しみません。
- 地域に学校を開き、地域の人材を活用した学習がなされ、このことで地域愛や地域の人への感謝の心が高揚し、地域の人や地域への恩返し精神が育ち、子ども自らの今後の生き方に影響してくるものと考えます。さらに進めてほしい。
- 地域の人材を活用した新しい企画を打ち出されて、地域の方々も学校を身近に感じられるようになっていると思います。

#### <課題>

- 生徒 — 『学習活動への意欲の向上』
- 家庭 — 『家庭でのメディア利用のルール・自立に向けた生活習慣の確立・PTA活動への協力』
- 学校 — 『学力向上に向けて：わかる授業の創造と実践、生徒の主体的・意欲的な学習の形成』
- 地域 — 『コミュニティ・スクールの理解を一層拡大・深化するための啓発の在り方』

## 5 今後の課題

来年度の課題は、今年度同様、生徒の主体性と積極性、継続性を学習や生活の場でいかに育てるかという課題を地域・保護者としっかり共有して、いかに取り組んでいくかである。また、学力の向上のためには日々の生活習慣や学習習慣の確立が大切であることを生徒と家庭に実感させる必要がある。特に、メディアの使用については、本校でも喫緊の課題である。学校・家庭・地域が一体になって取り組まなければならないことである。現在、PTAや三校の教職員・児童生徒の手で、海光る町学園としてのメディア使用のルールづくりを進めている。さらには、真の学力向上を目指して、なぜ学ぶのか、なぜ生活習慣を大切にしなければならないのか等も併せて、家庭生活の改善が学力向上に大きく関わることを示す取組を保護者にPTA・地域と連携して積極的・継続的に働きかけていく。

- 学力向上プラン — 「わかる・できる」楽しさを味わわせる
- 小佐々っ子プラン — 地域の教育力を生かして、小佐々で子どもを育てる

この二つの目標をもって、今年度も取り組んできた。その目標の実現に向けて確かな手応えを感じている。しかし、現状に満足することなく、さらに向上しなければならない。なぜならば、小佐々町の地域・保護者の切実で、熱く大きな期待がある。

今後も、コミュニティ・スクールとして、地域と共にある学校・開かれた学校づくりに注力していく。開かれた学校づくりをすることで、これからの小佐々中学校・海光る町学園をさらに発展させ、地域と共に育つ学校、地域を元気にする学校、地域に笑顔を届ける学校になる。そうして、「今、ここから一步前進」を校是として、子どもと共に生き、子どもの中に本物の生きる教育を目指していく。